

# 廃炉・汚染水対策事業

## 令和3年度概算要求額 167.4億円（新規）

### 事業の内容

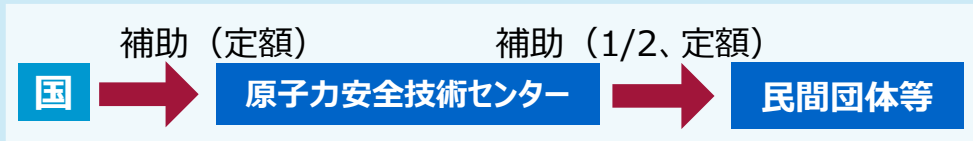
#### 事業目的・概要

- 福島第一原子力発電所の廃炉・汚染水対策については、中長期ロードマップに基づき、着実に取組を進めています。令和3年内のデブリ取り出し着手を機に、中長期ロードマップにおける「第3期」が開始します。
- 本事業は、福島第一原子力発電所の廃炉・汚染水対策を進めていく上で、技術的に難易度が高く、国が前面に立って取り組む必要のある研究開発を支援することにより、対策を円滑に進めることを目的とします。
- 具体的には、廃炉・汚染水対策が進捗していく中で、想定し得ない技術的課題に対応するため、国からの補助により基金を造成し、当該基金を活用して、研究開発を支援します。

#### 成果目標

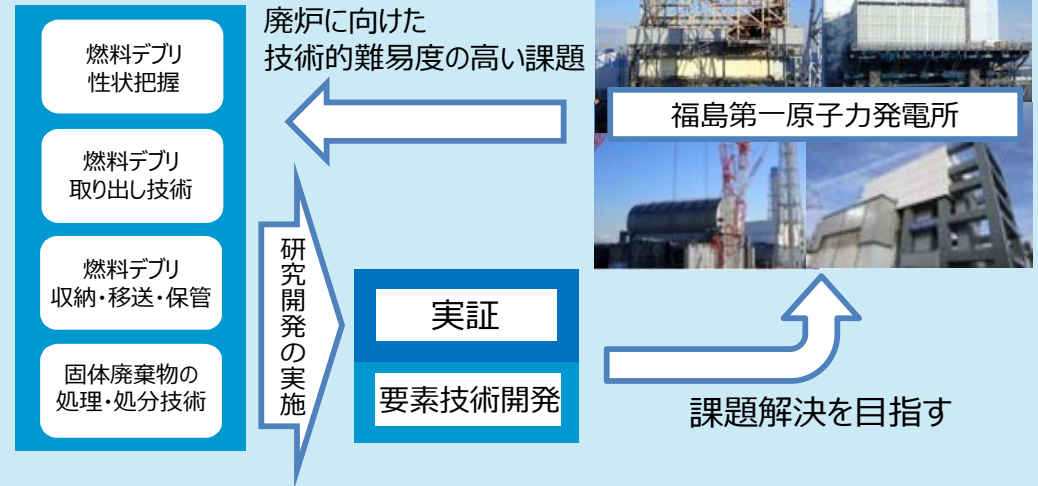
- 30～40年後の廃止措置終了に向けて、中長期ロードマップに基づき、廃炉・汚染水対策を実施します。

#### 条件（対象者、対象行為、補助率等）



### 事業イメージ

#### 事業イメージ



#### これまでの研究開発成果の例

これまでの調査により明らかになった原子炉格納容器内部の状況

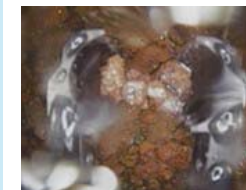
##### 【1号機】

格納容器底部で一定の厚さの堆積物を確認



##### 【2号機】

格納容器底部の燃料デブリと思われる堆積物の可動性を確認



##### 【3号機】

格納容器底部で燃料デブリと思われる堆積物を確認

